

令和4年度 葵が丘小学校 学校評価

I 令和4年度の取組

質の高い学習・生活の実現【主体的・対話的で深い学びの実現 一人一人が活躍できる場の保障】 学習・生活の基盤整備【実践的指導力の向上 学校と地域、家庭の一体的推進、地域における子供の活躍】		
【知】確かな学力を育む	【徳】夢や希望を育む	【体】健康・安全を育む
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習習慣の定着と授業規律の徹底を基盤とした基礎基本の確実な定着 ○ 考える楽しさ、分かるうれしさを味わわせる授業づくり ○ 地域に開かれた学びの推進と「学ぼうふるさと」学習の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・学びがいのある学習課題の設定 ・全教科領域において、それぞれの特性を生かした見方・考え方を働かせた授業構成 ・効果的な教科担任制の導入 ・教員の資質向上研修 ・SDGs を意識した学習計画、STEM/STEAM 教育の実践 ・ICT の効果的活用・学校支援 CD の支援体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳性を養う授業の実践と道徳的实践力を培う教育活動の充実 ○ いじめ予防教育の理解と実践 ○ 学級活動及び学校行事等の特別活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・葵グループの親和的な交流を通じた居場所づくり ・目的意識を持った委員会活動を通しての主体的な学校づくり ・葵グループの活動での異学年の思いを共有することによるリーダーシップの育成 ・児童会が主体となる活動を通じたより安全・安心な学校の実現を目指す取り組みの実践 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個々に目標を定め、その達成を目指す体育科の授業や学校行事の充実 ○ どの子ども安心して学級・学校生活を送る子供一人一人を理解した学級経営とニーズに応じた子供支援 ○ 保健指導・安全対策の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・体力作りの日常生活における意識化 ・配慮を要する児童の実態把握と組織的支援の充実 ・保護者や自治会の連携・協力し児童が、防災・防犯・交通安全の大切さを理解した状況にあった適切な行動をとるための安全指導 ・コロナ感染症予防の指導と学校全体での対策と実施
【学習・生活の基盤づくり ・地域と PTA の連携による学校行事及び学習活動の支援の活性化 ・地域行事等における児童ボランティア等の主体的参加 ・学校支援 CD を中心とした学校支体制づくり		

II 自己評価

○ 児童の評価

で開成中校区 指す子供	ルールやマナーを守り、よいこと・悪いことを判断して行動している。	85.1%
	地域の行事に進んで参加している。	48.2%
	自分や周りの人を大切にしている。	90.9%
葵っ子宣言	だれとでも明るく心のこもった挨拶をしている。	87.4%
	人への思いやり・助け合い・ゆずり合いの気持ちを大切にしている。	91.1%
	強い心を持ち、どんなことにも全力で取り組んでいる。	88.2%
学力 確かな	授業の内容が理解できる。	87.2%
	自分なりに進んで考えたり工夫したりして、学習に取り組んでいる。	84.6%
希望 夢や	学校での学習は、自分の生活や将来に役立つと思う。	88.2%
	学校や学級のみならず楽しく生活できるように委員会や係の活動ができています。	91.1%
安全 健康・	健康的な生活ができるよう気を付けている。	90.6%
	不審者や交通事故など、身の回りの危険に気を付けて生活している。	96.0%
学校	先生は、勉強がよくわかるように教えてくれる。	93.2%
	先生は、いじめがなく、みんなが仲良く過ごせるようにしてくれる。	92.8%
	先生は、困ったことがあったときに相談しやすい。	86.0%
	学校は、安全や健康に過ごすために大事なことを教えてくれる。	94.2%

○ 職員の評価

<ul style="list-style-type: none"> ・児童一人一人が、学習習慣をしっかりと身に付け、基礎学力の定着を図る必要がある。 ・「主体的に学び合う子」を目指し、深い学びにつながる単元構成や課題設定について取り組んだが、自ら課題追及に臨みたくなる魅力のある課題設定と授業改善を行い、キャリア教育で付けたい力を意識できる活動を行う必要がある。 ・授業等において ICT 機器が活用できるよう取り組んだが、モラル指導と共に有効的な活用を実践していけるように計画的に進める必要がある。 ・学校支援 CD の支援体制が成され、地域の方との体験的活動、STEM 教育に取り組んだ。今後は計画的に行う必要がある。 ・葵グループでの活動では、児童のよい面が引き出されていた。児童による自治的活動を増やし、リーダーを育み、自己有用感を高め居場所づくりになるよう取り組んでいく必要がある。 ・外遊びをする児童の固定化及び偏りのある遊び方などがけがにつながった。また、体力アップの取り組みは行ったが、体力の低下が続いている。全校での取り組みを仕掛ける必要がある。

○ 保護者の評価

で開成中校区 指す子供	お子さんは、ルールやマナーを守り、よいこと・悪いことを判断して行動している。	91.2%
	お子さんは、地域の行事に進んで参加している。	29.6%
	お子さんは、自分や周りの人を大切にしている。	93.8%
葵っ子宣言	お子さんは、だれとでも明るく心のこもった挨拶をしている。	77.8%
	お子さんは、人への思いやり・助け合い・ゆずり合いの気持ちを大切にしている。	90.0%
	お子さんは、強い心を持ち、どんなことにも全力で取り組んでいる。	79.3%
学力 確かな	お子さんは、基礎的・基本的な学習内容が定着している。	77.7%
	お子さんは、主体的に学習に取り組んでいる。	60.8%
希望 夢や	学校での学習は、お子さんの生活や将来との関連が図られている。	85.2%
	学校行事や特別活動（委員会、係活動など）は、子供たちの自主自立が育つように行われている。	85.7%
安全 健康・	お子さんは、健康的な生活ができるよう気を付けている。	89.8%
	お子さんは、不審者や交通事故など、身の回りの危険に気を付けて生活している。	91.5%
学校	学校は、お子さんを理解し、個に応じた支援をしている。	83.9%
	学校は、いじめのない学校・学級・集団づくりに取り組んでいる。	80.8%
	学校と家庭は、教育相談等により、相談しやすい関係となっている。	92.6%
	学校は、安全確保や健康管理のための取り組みを行っている。	92.9%
	学校は、たよりやホームページ等により、必要な情報を発信している。	93.3%

III 学校運営協議会による学校関係者評価

<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方が学習に参画し、よい学習をしたことが、参観会の発表などで保護者に伝わっていた。また、保護者が入り込むような授業があることで、親子のつながりが増え、学校教育への理解も深まった。今後も地域や PTA の連携による授業づくりを仕組んでいくとよい。 ・体力アップのためのエアロビクスは、運動が苦手な子どもでも参加しようと思える取り組みだった。タブレットなどでアンケートを取り、遊びたい遊びに取り組むと、自然と体力アップにつながるのかと思う。 ・登下校時間に地域の方が旗振りをした。そこにいてくれる安心感、地域の方と挨拶を交わす取り組みが、子供たちを成長させている。子供たちの交通安全に対する意識も高くなっているように見られた。 ・地域の行事はコロナ感染症対応で現在なくなっているものが多いが、少しずつ、子供たちが参加できる行事を戻していきたいと考えている。授業に参画したり子供たちが地域の行事に参加したり、つながりを増やしていきたい。

IV 今後の改善方策

<ul style="list-style-type: none"> ◇ 学習指導要領で求められる「主体的で対話的な深い学び」が実現できるよう、魅力のある課題設定、授業改善に向けて、研修に取り組む。 ◇ 教育活動全体を通し、キャリア教育で身に付けたい力につながっているかを意識した活動計画を立案していく。 ◇ 情報活用能力の育成を目指し、タブレット等 ICT を有効活用した授業の推進を図る。 ◇ 委員会活動、葵グループによる児童の自治的活動を仕掛け、リーダーの育成とともに、安心できる居場所づくりにつなげる。 ◇ 体育科の学習、持久走記録会、外遊び等の体力アップの時間を通して、目標に向かってねばり強く挑戦する態度を育てる場を工夫し設定する。また、いろいろな遊びを提案し、楽しみながら運動感覚を養えるように仕組む。 	◇ 学校支援 CD と連携し、専門的かつ体験的な学習の場を計画的に設定する。
---	--